

ユニバーサル・ミュージアム論の新展開

— 展示・教育から観光・まちづくりまで —

ユニバーサル・ミュージアムとは、
「視覚に依存する従来の博物館、
さらには現代社会のあり方を問い直す
壮大な実験装置」なのだ！



- 日時 : 2015年11月28日(土)・29日(日)
- 会場 : 国立民族学博物館 第5セミナー室
- 定員 : 各日100名(先着順) [参加無料]

【お申し込み方法】

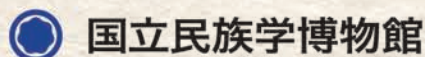
「ユニバーサル・ミュージアム論の新展開」と明記の上、以下の記入事項を添えてメール又はFAXでお申し込み下さい。2名様以上でお申し込みの場合は、各自記入事項を明記して下さい。10月下旬にはメール又はFAXにて参加の可否をお知らせいたします。

※応募者が多数の場合はご参加いただけないことがあります。

【記入事項】 ① 氏名 ② 連絡先電話番号 ③ メールアドレス又はFAX番号
④ 所属(任意) ⑤ 参加希望日

【宛先】 E-mail : um2015@idc.minpaku.ac.jp FAX : 06-6878-8479

後援 : 全日本博物館学会、日本博物館協会、日本ミュージアム・マネジメント学会



ユニバーサル・ミュージアム論の新展開

— 展示・教育から観光・まちづくりまで —

本シンポジウムの目的は、国立民族学博物館の共同研究「触文化に関する人類学的研究」の成果を一般公開することである。

1日目は、各地の美術館・博物館で試みられている展示、教育プログラムの事例を報告する。2日目は、博物館の枠にこだわらず、自由な発想で企画される触発型ワークショップの諸相、および五感を駆使して「誰もが楽しめる」観光・まちづくりをめざす先進的な取り組みを紹介する。視覚障害者支援というレベルにとどまらず、ミュージアムそのもの、ひいては社会を改変していく触文化の実践的研究を推進するのが、シンポジウム全体を貫く基本スタンスである。（手話通訳、点字レジュメあり）

【第一日】
11月28日（土）

- 13:00~13:10 開会挨拶(広瀬浩二郎)
- セッション I 「美術館における多様な鑑賞プログラム—視覚障害者支援からユニバーサル・ミュージアムへ」
コーディネーター: 大高幸
- 13:10~15:10 「対話と五感をういた教育プログラムの立案—美術館と盲学校の連携事業から」 岡本裕子
「さわるアートブック制作の課題と展望」 藤島美菜
「絵画への触覚的アプローチ—その限界と可能性」 井口智子
- セッション II 「さわる展示を創る—誰もが楽しめる博物館とは何か」
コーディネーター: 中村千恵
- 15:30~17:30 「触察による瘡癩絵の理解—立体コピーを活用した移動展示の試み」 寺岡茂樹
「実物をさわる体験—来館者の思いとその表現」 藤村俊
「さわる展示の未来—南山大学人類学博物館の挑戦」 黒沢浩
- 17:30~18:10 コメント
「ユニバーサル・ミュージアム論を取り入れた博物館実習」 篠原聡
「学生のアイデアが博物館を変える!?—さわる展示の実践に向けて」 原礼子
- 18:30~20:00 レセプション(レストランみんぱく)

【第二日】
11月29日（日）

- セッション III 「博物館と社会をつなぐワークショップ—「見えない世界をみる」感性を育むために」
コーディネーター: 鈴木康二
- 10:00~12:00 「遺跡を感じる—さわって楽しむ考古学の魅力」 さかいひろこ
「縄文人の暮らしと現代アート—歴史を再発見・再創造する」 堀江武史
「モノと人との対話を引き出す触発型ワークショップ—第五福竜丸展示館・触察ツアーを事例として」 真下弥生
- 13:00~14:00 対談 「全盲者の耳、ろう者の目—「障害」から生まれる身体知」 広瀬浩二郎・相良啓子
- セッション IV 「博物館から観光・まちづくりへ—今、なぜユニバーサルデザインなのか」
コーディネーター: 堀江典子
- 14:15~16:15 「ユニバーサルな観光地をめざして—北海道の大自然を体感するハートフルツアーの取り組み」 三木亨
「ともに歩く、ともに楽しむ、ともに創る—目に見えない“大坂”を探るまちあるきプランの企画」 山根秀宣
「被災地ツーリズムのユニバーサル化に向けて—福島県いわき市の復興支援を通して考える」 石塚裕子
- 16:30~17:10 コメント
「娯楽・余暇の幅を広げる—見えない恐怖を共遊する「マダーロッジ」の衝撃」 大石徹
「伝える手、つなげる手—制作者の立場から」 宮本ルリ子
- 17:10~18:00 総括&総合討論
「“先”を見通す洞察力—先史時代研究の先駆者が語る明日のユニバーサル・ミュージアム」 小山修三

【シンポジスト一覧(五十音順)】

石塚 裕子	大阪大学 特任助教	中村 千恵	三重県総合博物館 学芸員
井口 智子	名古屋ポストン美術館 学芸員	原 礼子	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 学芸員
大石 徹	芦屋大学 准教授	広瀬 浩二郎	国立民族学博物館 准教授
大高 幸	放送大学 客員准教授	藤島 美菜	愛知県美術館 主任学芸員
岡本 裕子	岡山県立美術館 主任学芸員	藤村 俊	美濃加茂市民ミュージアム 学芸員
黒沢 浩	南山大学 教授	堀江 武史	府中工房 代表
小山 修三	国立民族学博物館 名誉教授	堀江 典子	佛教大学 准教授
さかい ひろこ	イラストレーター	真下 弥生	ルーテル学院大学 非常勤講師
相良 啓子	国立民族学博物館 プロジェクト研究員	三木 亨	弟子屈UDプラザ 会長
篠原 聡	東海大学 准教授	宮本 ルリ子	滋賀県立陶芸の森/世界にひとつの宝物づくり実行委員会 専門員
鈴木 康二	滋賀県文化財保護協会 主任	山根 秀宣	空堀まちなみ井戸端会 理事
寺岡 茂樹	中世日本研究所女性仏教文化史研究センター 研究員		

国立民族学博物館

● 開館時間 10:00 ~ 17:00(入館は 16:30 まで) ● 休館日..... 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

● 観覧料..... 一般 420 円/高校・大学生 250 円/小中学生 110 円
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール... 「万博記念公園駅」徒歩約 15 分 * 自然文化園窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
「公園東口駅」徒歩約 15 分
* 自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。
- バス..... 「近鉄バス」(阪大本部前行き)阪急茨木市駅から約 20 分、JR 茨木駅から約 10 分、「日本庭園前」下車徒歩約 13 分
- 乗用車..... 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約 5 分
* 「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

[大阪・万博記念公園]
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
研究協力課国際協力係
Tel:06-6876-2151 Fax:06-6878-8479
www.minpaku.ac.jp/

